

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	体育	2	1	総合探究科

使用教科書	副教材等
現代高等保健体育（大修館書店）	現代高等保健体育ノート（大修館書店） アクティブスポーツ（大修館書店） 選択制体育学習ノート（大修館書店）

科目の目標 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の多様性や体力の必要性について理解している。 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動が豊かに継続することができるようにするための技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題や豊かなスポーツライフを継続するための課題を発見し、 合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する力を身に付けている。 解決の仕方や気付いたこと等について自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 運動における競争や協働の経験を通して、 公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を高めようとしている。 健康・安全を確保したり、運動を主体的に取り組もうとしている。
評価方法	
<ul style="list-style-type: none"> 運動の知識・技能の点検、確認、分析（ルール等の小テスト、スキルテスト、発表会、学習プリント・ノート等） 記述の点検、確認、分析（学習プリント・ノート、グループワーク等） 行動の観察、確認（グループ活動の姿勢、安全性の確保、授業への取組状況 等） 	

学習計画						
月	領域	単元	単元や題材などの内容のまとめりと学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体づくり運動	体ほぐしの運動 (ラジオ体操・ 集団行動)	集合、整頓、方向変換、ラジオ体操などの仕方を理解し、行動できる。	○		
			定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解できる。	○		
			ラジオ体操やいろいろな体ほぐしの運動を行うことを通して、気付いたり、仲間と関わりあったりしている。		○	
			集団行動や体ほぐし運動を自主的に取り組むとともに、健康・安全を確保し活動している。			○
5	球技①	<男子> ベースボール型 (ソフトボール) <女子> ネット型 (バレーボール)	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、学習した具体例を挙げている。	○		
			役割に応じて、投げたり捕球したり、打ったりすることができる(ソフトボール)。	○		
			役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりすることができる(バレーボール)。	○		
			選択した球技について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。		○	
6	*水泳	クロール 男子：50m 女子：25m	球技の学習に自主的に取り組もうとしている。			○
			各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。	○		
			合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見付けることができる。		○	
			自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し健康・安全を確保している。			○
7			各種目で用いられる技術の名称やポイントを理解し、それぞれの技術を実践することができる。	○		
			合理的な動きと自己の動きを比較して、成果や改善すべきポイントを見付けることができる。		○	
			自主的に取り組むとともに、事故防止の心得を遵守し健康・安全を確保している。			○

9	*水泳 続き					
	体づくり運動	実生活に生かす運動の計画 (新体力テスト、体力を高める運動)	運動には体力向上の原則があることを理解し、運動のねらいやバランスを考え、自分にあった運動を計画し取り組むことができる。	○		
10	体育理論	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展	運動のねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。 自主的に取り組むとともに、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。		○	
			スポーツの歴史的発展と多様な変化、現代スポーツの意義や価値について理解している。	○		
			自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。課題を発見するための意見交換などの学習に自ら進んで取り組んでいる。		○	○
11	*球技②	ゴール型 <男子> サッカー <女子> バスケットボール	選択した球技において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて、理解している。安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	○		
			攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		○	
			自主的に取り組み、互いに助け合い、教え合おうとしている。			○
	陸上競技	長距離走	自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。	○		
12			1.4km(健脚大会)を完走できる。	○		
			記録の向上に有効な練習方法のやり方について、自己の考えを伝えることができる。		○	
			一人一人の技能の違いに応じた課題に自主的に取り組んでいる。			○
1						
2	*球技② 続き	ゴール型 <男子> サッカー <女子> バスケットボール				
	体育理論	スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展	課題を発見するための意見交換などの学習に自ら進んで取り組んでいる。			○
3						